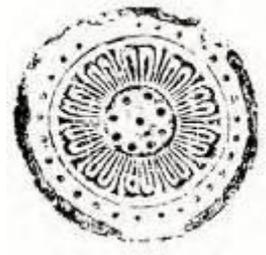


大分市歴史資料館年報

(平成30年度)



2019

はじめに

平成 30 年度の大分市歴史資料館年報をお届けします。

本年度の展示事業は、「王朝文化へのいざない―源氏物語絵」・「いきものばかり―資料にみる小さな生き物」・「収蔵コレクション（2018 年度）―花鳥風月展」の 3 回のテーマ展示と、特別展「日本 100 名城―大分府内城」を開催しました。

「王朝文化へのいざない―源氏物語絵」では、当館が所蔵する源氏絵や貝合などの資料を通して平安時代の貴族社会に花開いた王朝文化の世界を紹介しました。「いきものばかり―資料にみる小さな生き物」では、賀来飛霞の動植物図をはじめ、先人たちの作品にあしらわれた鳥・魚・エビ・カエル・蝶・トンボなどの小さな生き物たちの姿を楽しんでいただきました。「収蔵コレクション（2018 年度）―花鳥風月」では、当館が所蔵する絵画や陶磁器、玩具などのコレクションを、花・鳥・風・月の 4 つのテーマでご覧いただきました。

特別展「日本 100 名城―大分府内城」では、慶長 7 年に建てられ、寛保 3 年の大火で焼失した府内城天守の姿を復元し紹介するとともに、威容を誇った府内城の縄張りや構造の特徴などを紹介しました。広島大学総合博物館の佐藤大規氏の記念講演会では、講座室の定員を超える多くの聴衆があり、市民の府内城に対する関心の高さに改めて驚かされました。

その他、大分市の新指定文化財や季節にあわせた「気まぐれ一品」の展示なども行いました。

また、教育普及事業では、考古・歴史・民俗文化史・古文書の「ふるさとの歴史再発見」講座を全 19 回、勾玉づくりや古代火起しなどの「ふれあい歴史体験講座」を全 19 回開催。5 月 5 日の子供の日には竹トンボや竹馬・独楽などを使った「昔のおもちゃで遊ぼう」、8 月 2 日には国分寺跡史跡公園めぐりや鏡作りなどを行った「夏休みジュニア歴史体験」を開催しました。

インフルエンザの流行による学校利用の減少もあって、総利用者は昨年より 3,076 人下回る 43,346 人という結果となりましたが、今後も市民ボランティアの方々と手を携えながら、多くの来館者に歴史を様々なかたちで楽しみ学んでいただけるような資料館づくりに努めて参りたいと考えております。

最後になりますが、当館の活動に日頃からご協力をいただいております関係各位に深くお礼を申し上げますとともに、温かいご支援を今後とも賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 7 月 25 日

大分市歴史資料館

館長 武富雅宣

目 次

展 示	1
テーマ展示 特別展 その他の展示 まちかど歴史展示館	
資料調査	9
資料収集	12
教育普及活動	14
歴史資料館利用状況	20
管理及び運営	21
歴史資料館協議会 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出・ 施設管理業務の内容	
施設の概要	23
利用案内	24

展 示

I. テーマ展示

第1回「王朝文化へのいざない 源氏物語絵」

会期 4月28日(土)～6月17日(日)

開館日数：44日 入館者数：2,605人

紫式部が平安時代に書いた『源氏物語』は、稀代の貴公子「光源氏」を主人公とする長編小説で長くこんにちまで人々に愛読されている。テーマ展示100回目を記念して、をの『源氏物語』の内容を見事に描写した当館所蔵の「源氏物語絵」をはじめ、貝合や百人一首、大友義統が『源氏物語』の一節を色紙に書き写した「十二月言葉手鑑」などを展示し、『源氏物語』の描く王朝文化の世界を解説した。



展示状況「I. 源氏物語絵をみる」

主な展示構成・展示品

[I. 源氏物語絵をみる]

「巻8・花宴」／「巻43・紅梅」／「巻52・蜻蛉」／「巻42・宿木」／「巻6・末摘花」／「巻3・空蝉」／「巻40・竹河」／「巻21・少女」／「巻11・花散里」

[II. 貴族のあそび]

貝合(貝桶と合具)

[III. 貴族の教養]

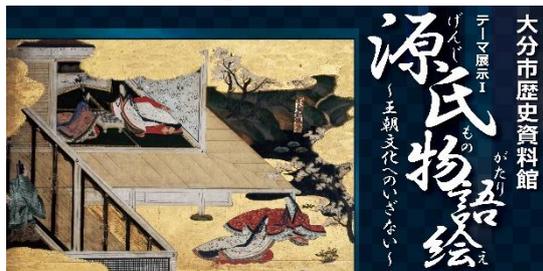
「百人一首」／『古今和歌集』

[IV. 武士の教養]

「十二月言葉手鑑」



展示状況「II. 貴族のあそび」



展示状況「IV. 武士の教養」



「展示案内」・「テーマ展示室入口」

**第3回「収蔵コレクション(2018年度)
～花鳥風月展～」**

会期 1月26日(土)～3月31日(日)

開館日数：55日 入館者数：4,100人

本展は当館が収蔵するコレクションを、「花鳥風月」のテーマで紹介した。

大分には古くからの名所旧跡が数多くあり、絵図などにたびたび描かれてきた。

今回の展示では、大分を代表する名所旧跡や、美しい生き物の姿などをあらわした、作品の数々を紹介した。



テーマ展示室入口

主な展示構成・展示品

[花]

賀来飛霞筆「アジサイ図」／賀来飛霞筆「百合と蘭の図」／漳州窯瑠璃地餅花手盤／おみか餅／華南三彩刻花六耳壺

[鳥]

賀来飛霞筆「軍鶏図」／賀来飛霞筆「ニククマ図」／「古代飾」／華南三彩鳥形水滴(雌雄一対)／きじ車／華南三彩鴨形水注

[風]

「豊後佐賀関之真景」／『永代節用無尽蔵』／『画典通考』／「杵築府内間山水図巻」

[月]

『大分県漁業誌』／『杵原八景』



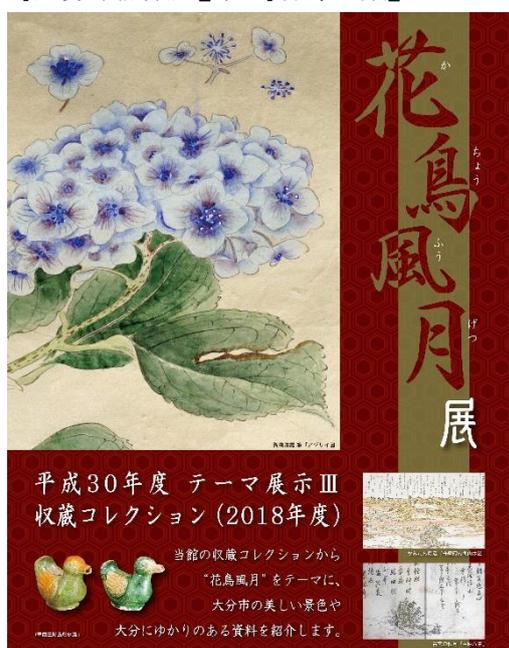
展示状況「花」



展示状況「鳥」



展示状況「風」



〒1.26 1.31 9:00 17:00 128円 2.5 3.5 11 18 22 25 大分市歴史資料館 ☎097-549-0880 〒870-0861 大分県大分市南分960-1 ☎097-549-5766

II. 特別展

第 37 回特別展

「日本 100 名城 大分府内城」

今回の特別展は、安土・桃山時代に築城された府内城の実像に迫る展覧会で、最新の府内城研究の成果を基に府内城天守の4つの復元図案を提示し、府内城本丸の特徴として姫路城や伊予今治城との類似性について解説した。

また、江戸時代の府内城に関する絵図や史料についても併せて展示する中で、府内城が「城はすこぶる大なり」と評された理由についての検証を行った。その結果、櫓の数が熊本城や福岡城などの巨城に次いで九州では多く、天守に近付くにつれて石垣が高くなる曲輪の構造から、府内城が実際よりも大きく見えていた可能性を指摘した。

さらに、日本城郭協会の後援をうけ、「日本 100 名城」に選定されている近世城郭の内、江戸時代の天守が現存する 12 の復元模型を展示して、府内城天守と比較した。

会期中の 11 月 4 日（日）には、当館講座室において、記念講演会「府内城の魅力—天守・櫓・縄張」を大分市出身の研究者である広島大学総合博物館の佐藤大規氏を講師にお招きして開催した。

会期：10 月 5 日（金）～11 月 25 日（日）

会場：第 1・2 展示室・テーマ展示室

開館日数：46 日 入館者数：6,245 人

出品点数：58 点

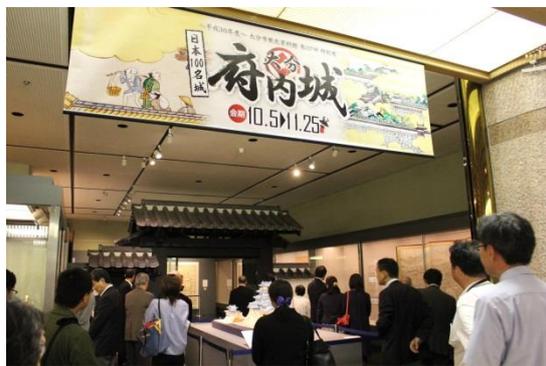
記念講演会聴講者数：115 人



展示会場入り口の様子



開会式典の様子



式典後の展示解説の様子



記念講演会講師の府内城天守復元CG画像



当館が制作した府内城模型

＝出品目録①＝

第一章 近世の城						
	名称	数量	年代	寸法	所蔵者(制作者)	備考
1	府内城天守復元 CG 画像	1	現代	5800×3370	復元：佐藤大規 制作：株式会社エス	
2	府内城天守復元模型	1	現代	80×55×80	長谷川進	
3	安土城図	1	明治29年 (1896)	109×140	大阪城天守閣	
4	安土城搦手道湖辺部出土金箔瓦	1	桃山時代 (16世紀)	17×40×11.5	滋賀県教育委員会	安土城考古博物館寄託
5	安土城伝米蔵出土金箔鱗瓦片	4	桃山時代 (16世紀)	20.4 他	滋賀県教育委員会	安土城考古博物館寄託
6	安土城伝米蔵出土金箔鱗瓦復元模型	1	桃山時代 (16世紀)	60×40×80	滋賀県教育委員会	安土城考古博物館寄託
7	大坂城図屏風	2曲1隻	桃山時代 (16世紀)	155×149	大阪城天守閣	
8	肥前名護屋城図屏風 [複製]	6曲1隻	文禄2年 (1593)	169.5×376.8	佐賀県立名護屋城博物館	[展示期間]10月5日～10月28日
9	江戸図屏風 (左隻) [複製]	6曲1隻	江戸時代前期 (17世紀前半)	179×383.6	国立歴史民俗博物館	[展示期間]10月30日～11月25日
第二章 府内城の姿						
10	姫路城模型	1	現代	60×52×60	日本城郭協会	
11	日根野時代府内藩領図	1	江戸時代	88.0×158.0	大分市歴史資料館	
12	雉城雑誌	1	天保年間 (1831～1845)	17×23.5	大分県立先哲史料館	
13	豊府紀聞	1	江戸時代	17×23.5	大分県立先哲史料館	
14	西遊雑記	1	天明3年 (1783)	23×15.9	大分市歴史資料館	
15	豊国紀行	1	元禄7年 (1694)	27.7×20.9	大分市歴史資料館	
16	府内城下町絵図	1	文久元年 (1861)	193×226	大分大学学術情報拠点 (図書館)	
17	府内城三ノ丸北口出土鬼瓦	2	江戸時代中・後期	45×30	大分県立埋蔵文化財センター	
18	播州姫路城図 (大絵図) [写真資料]	1	元禄頃か (原本)	248×279 (原本)	大分市・中根家	
19	播陽姫路図	1	貞享3年 (1686)	177×173	大分市・中根家	
20	幕府隠密今治城見取図	1	寛永4年 (1627)	35×99	伊予史談会	愛媛県立図書館寄託
21	今治城郭之図	1	明治4年 (1871)	87×83	愛媛県立図書館	
トピック 府内城下町にタイムトリップ						
22	正保城絵図 [複製]	1	正保元年 (1644)	273×255	大分市歴史資料館	原本：国立公文書館
23	府内城模型	1	現代	104.5×130.5	大分市歴史資料館	
第三章 府内城と災害						
24	府内城絵馬	1	明治19年 (1886)	87×116	松栄神社	大分市歴史資料館寄託
25	豊府指南	1	江戸時代	15.7×22.2	松栄神社	大分市歴史資料館寄託
26	元東之丸御殿図	1	江戸時代後期	138.2×101	松栄神社	市指定有形文化財(松栄神社絵図) 大分市歴史資料館寄託
27	府内城諸櫓門等図	1	安政7年 (1860)	28×41	松栄神社	市指定有形文化財(松栄神社絵図) 大分市歴史資料館寄託
28	豊後国府内城絵図	1	寛保3年 (1743)	126×112	大分県立先哲史料館	
29	府内御城再築御願一件	2	寛保3年 (1743)	29.3×20 26×20.5	大分県立先哲史料館	
30	豊後国府内城櫓門堀破損絵図	1	明和7年 (1770)	134×116	大分県立先哲史料館	
31	府内城三ノ丸跡出土陶磁器	1	江戸時代中期	13.2×22.6	大分県立埋蔵文化財センター	火事で癒着した陶磁器
32	府内城三ノ丸跡出土陶磁器	1	江戸時代前期	17	大分県立埋蔵文化財センター	火事で焼けた華南三彩皿
33	華南三彩皿 (伝世品)	1	江戸時代前期	16.4	大分市歴史資料館	
34	府内城三ノ丸跡出土陶磁器	1	江戸時代前期 (17世紀後半)	22.5	大分県立埋蔵文化財センター	肥前色絵染付皿
35	御城下絵図	1	江戸時代中期 (17世紀後半～18世紀前半)	35.2×2970.5	大分市歴史資料館	大分市指定有形文化財
36	府内藩記録 (甲)	3	江戸時代	26.5×20.5	大分県立先哲史料館	

※寸法…縦×横 (cm)

＝出品目録②＝

第三章 府内城と災害						
名称	数量	年代	寸法	所蔵者(制作者)	備考	
37 府内藩記録(補遺)	3	江戸時代	25.5×21.0他	松栄神社	大分市歴史資料館寄託	
38 主図合結図	1	江戸時代後期	26.4×19.4	大分市歴史資料館		
39 徳島城図(阿州渭城)	1	江戸時代	54.4×41.0	大分市・中根家		
第四章 日本100名城						
40 弘前城	1	現代	30×30×44	日本城郭協会	模型	
41 松本城	1	現代	63×56×57	日本城郭協会	模型	
42 丸岡城	1	現代	43×38×39	日本城郭協会	模型	
43 犬山城	1	現代	40×38×47	日本城郭協会	模型	
44 彦根城	1	現代	45×55×40	日本城郭協会	模型	
45 姫路城	1	現代	60×52×60	日本城郭協会	模型	
46 松江城	1	現代	44×53×54	日本城郭協会	模型	
47 備前松山城	1	現代	95×32×35	日本城郭協会	模型	
48 丸亀城	1	現代	25×22×41	日本城郭協会	模型	
49 伊予松山城	1	現代	1200×800×550	日本城郭協会	模型	
50 宇和島城	1	現代	27×35×40	日本城郭協会	模型	
51 高知城	1	現代	120×80×55	日本城郭協会	模型	

※寸法…縦×横 (cm)

日本100名城
大分府内城

平成30年度
大分市歴史資料館
第37回 特別展

会期 10.5 ▶ 11.25

【記念講演会】
11.4(日) 13:30-

【展示解説講座】
10.21(日) 14:00-

大分市歴史資料館 大分市大分分館960-1
☎097-549-0880 ☎097-549-5766

チラシ表面

平成30年度 大分市歴史資料館 第37回 特別展 日本100名城 大分府内城

府内城は、安土・鶴山時代に築城が始まり、幕府藩の儒学者である貝原益軒(1630-1714)が江戸時代にその姿を捉へて『開大志』と評した城郭です。

不夜城合では、大守が居住する12の城の微元機型や、安土城・姫路城の資料などから、府内城の姿像に迫ります。

I. 近世の城 それに、安土城から始った、

II. 府内城の姿 式守のついで式守通橋(赤土一階式守橋)の姿は、和室・堀・城郭の22区に分かれています。

III. 府内城と災害 府内城の戦には、幕府の討伐が繰り返されました。

IV. 日本100名城 現在17天守を見比べる。(公益財団法人 日本城郭協会)

チラシ裏面



資料館外看板の設置状況



資料館入り口の様子



展示状況 第1章 近世の城



展示状況 第1章 近世の城



展示状況 第2章 府内城の姿



展示状況 第2章 府内城の姿



展示状況 第3章 府内城と災害



展示状況 第4章 日本100名

Ⅲ. その他の展示

常設展示「今月の源氏物語絵」

●当館所蔵の「源氏物語絵」を、季節に合わせて、月ごとに「巻52・蜻蛉(7月)」・「巻3・空蟬(8月)」・「巻38・鈴虫(9月)」・「巻21・少女(10月)」・「巻39・夕霧(11月)」・「巻6・末摘花(1月)」・「巻41・幻(12月)」・「巻43・紅梅(2月)」・「巻5・若紫(3月)」を、「今月の一品」として展示した。



「巻52・蜻蛉(7月)」

常設展示・展示パネル替え

●常設展示の遺跡分布パネル4枚を、調査研究の進展に伴い、作り替えた。



常設展示・展示パネル替え(弥生時代)

常設展示・新指定有形文化財

●大分市出土同範銅戈(住吉神社所蔵銅戈・伝岩屋遺跡出土銅戈)が、市指定有形文化財に平成30年12月7日付けで指定され、その後資料の寄託を所有者より受けたことから、当館で展示・公開を行った。

2つの細形銅戈は、弥生時代中頃に同じ鋳型で造られたものであることを紹介した。



常設展示・新指定有形文化財

常設展示「気まぐれ一品」

- 7月に「気まぐれ一品」として「一文人形」を展示した。
- 1月に「気まぐれ一品」として「猪の郷土玩具」を展示した。

屋外展示

●大分市曲の芳河原古墳出土とされる箱式石棺を、昨年度に続き屋外展示として、資料館北西の植栽ゾーンに復元設置・公開した。

Ⅳ. まちかど歴史展示館

●多くの市民に郷土の歴史や文化を紹介するために、市民学芸員や地域住民と協働して、資料館を出てパネルや資料館などの展示を行う「まちかど歴史展示館」を、大分銀行ドームで展示を行い、3,135人の利用があった。



大分銀行ドーム

資料調査

I. 平成30・令和元年度特別展関係資料調査

平成30年度開催の「日本100名城 大分府内城」、令和元年度開催予定の「大分の禅」の各資料調査を以下のとおり実施した。

1. 佐賀県立名護屋城博物館

調査日 平成30年4月25日(水)

調査員 河野史郎・串間聖剛

■平成30年度特別展の実施にあたり、「肥前名護屋城図屏風(複製)」の資料調査を行った。

肥前名護屋城は、天下統一後の豊臣秀吉が大陸侵出をめざした、文禄・慶長の役の拠点として造られたものである。

名護屋城の姿を描く貴重な資料で、天守は5層の望楼型であったことが分かる。

特別展の第I章「近世の城」において、天守の形が望楼型から層塔型へと変化する様子を解説するため、近世城郭のモデルとなった安土城や大坂城と合わせて紹介するものである。



調査状況



「肥前名護屋城図屏風(複製)」部分

2. 愛媛県立図書館(えひめ資料室)

調査日 平成30年5月10日(木)

調査員 塩地潤一・串間聖剛

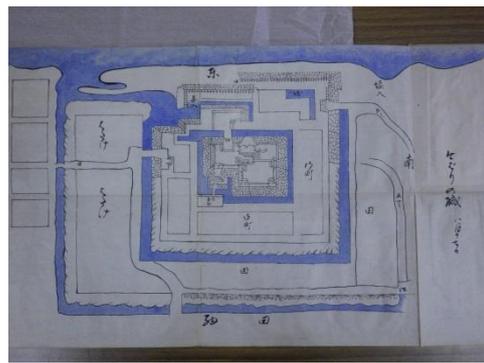
■平成30年度特別展の実施にあたり、「幕府隠密今治城見取図」及び「今治城郭之図」の資料調査を行った。

「幕府隠密今治城見取図」は伊予史談会所蔵の資料で、愛媛県立図書館寄託のものである。

寛永4年(1627)に公儀隠密が今治を視察した際に作成した絵図で、本丸に築城当初の多門櫓などが存在していたことが分かる。

また、「今治城郭之図」は、明治4年(1871)年に描かれたもので、本丸・二之丸など3つの方形の曲輪が連なり、府内城の本丸の構造と近似する。

以上のことから、府内城の天守や本丸の実像に迫るため、特別展の第II章「府内城の姿」において、府内城と類似する城として、姫路城と合わせて紹介する。



「幕府隠密今治城見取図」



「今治城郭之図」

3. 長崎市教育委員会

調査日 平成31年3月25日(月)

調査員 塩地潤一

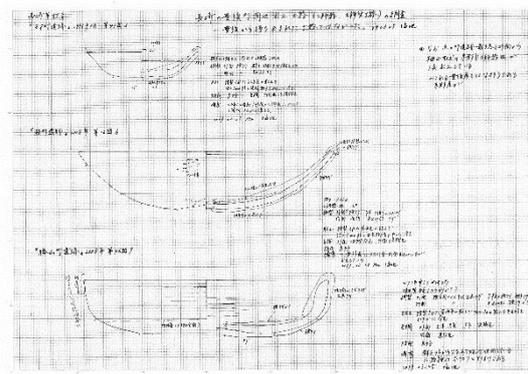
■令和元年度特別展の実施にあたり、港市「長崎」の豊後町推定地及びその周辺において発見された埋蔵文化財の調査を行った。

その目的は、長崎開港当初から存在した豊後町の形成理由を、文献史料に見られる長崎で活動した府内の商人や大友家の家臣と関連させて検討するものである。

具体的には、長崎市に所在する桜町遺跡など豊後町推定地及びその周辺に位置する遺跡の発掘調査で発見された埋蔵文化財の中に、戦国時代から江戸時代にかけて豊後府内で製作された土師器皿と類似するものが認められることから、商品として流通していない豊後府内の土師器皿であることが特定できれば、その場所に府内の商人や武士の存在を指摘することが可能となる。

実測調査の結果、今回の調査では豊後府内で製作された土師器皿と断定することは出来なかった。

このため、江戸時代に製作された長崎の絵図から再度、豊後町の形成理由を検討することとした。



豊後町推定地出土の土器の実測図

4. 長崎歴史文化博物館

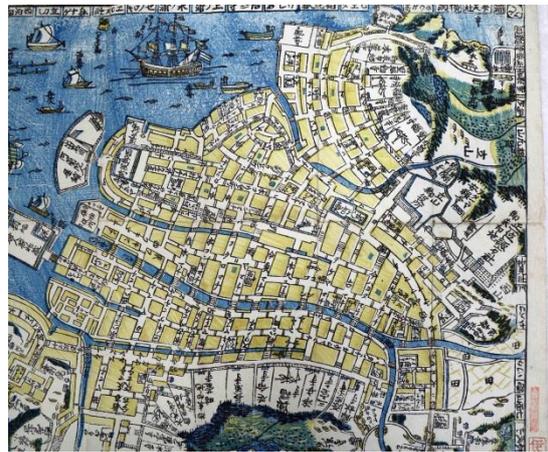
調査日 平成31年3月26日(火)

調査員 塩地潤一

■令和元年度特別展の実施にあたり、「肥州長崎図 大和屋板」の資料調査を行った。

本資料は、江戸時代の享和元年(1802)に描かれた長崎の地図で、豊後町が長崎の中心部にあることがよく分かる。その場所は、長崎の南北のメインストリートと、町の2箇所にある寺町を結ぶ東西道路との交差点に位置する。

これらの調査成果を踏まえて、今回の特別展において、長崎に存在した豊後町について紹介する。



「肥州長崎図 大和屋板」部分

5. 東名山 興福寺(長崎市)

調査日 平成31年3月26日(火)

調査員 塩地潤一

■令和元年度特別展の実施にあたり、黄檗宗の唐寺に伝わる「関帝倚像」と「関帝像」の資料調査を行った。

「関帝倚像」は、媽祖堂内に安置されているもので、中国後漢末の有名な武将・関羽の像である。

関帝は神格化された際の呼び名で、中国本土のみならず、華僑の居住地には、財神・守護神として必ず祀られた。関羽のシンボルである黒く長い髭に鋭い眼光、そして恰幅の良い体つきが特徴で、作者は中国人渡来仏師の范道生である可能性が高いとされているものである。

今回の特別展において資料の借用は困難で、展示を断念し、画像で紹介する予定である。

これを踏まえて所有者より紹介を受けた資料が「関帝像」である。紙本著色の一軸で、年1回2月に公開される絵画である。中央に

勇壮な関羽の姿が見事に表現され、脇侍には黒い顔に青龍刀を捧げ持つ周倉が左に、秀麗な青年で白い顔の関平が右に描かれている。

今回の特別展では、第Ⅲ章「新風を吹き込んだ江戸の黄檗禅」において、府内の禅寺「長福寺」に安置されていた「関帝像」の歴史的な意味を解説するために紹介する。



「関帝倚像」



「関帝像」

6. 長崎県埋蔵文化財センター

調査日 平成 31 年 3 月 27 日 (水)

調査員 塩地潤一

■令和元年度特別展の実施にあたり、長崎市桜町遺跡の発掘調査で発見された豊後町の蔵跡出土の貿易陶磁器について、資料調査を行った。

これらの陶磁器は江戸時代前期の寛文 3 年 (1663) の長崎の大火で焼失した、豊後町の土蔵の地下室から発見されたものである。蔵に貯蔵された調度品とみられ、国産の備前焼や信楽焼、貿易陶磁器では中国・朝鮮・ベトナム・タイ・ミャンマーのものが認められる。

陶磁器の他には、瓦の破片が一定量認められることから、瓦葺の土蔵が地下室の上に建てられていたものと考えられる。

この瓦葺の土蔵の記録とみられる屏風が、「寛文長崎屏風」で、1661～1672 年の豊後町の様子が確認できる。交差点の角地には瓦葺の白壁の土蔵が描かれており、その他の屋根は板葺となっている。

以上のことから、今回の特別展では、長崎の豊後町の実像に迫るため、「寛文長崎屏風」の豊後町の画像を背景に、蔵跡出土の貿易陶磁器を紹介する。



豊後町の蔵の遺構から発見された貿易陶磁器

II. 市内の文化財調査

平成 30 年度の祭礼調査及び所有者の調査依頼を受けて行った資料調査件数は、36 件である。その内訳は以下のとおりで、民俗調査が大半を占めている。

区分	民俗調査		資料調査			建造物調査
	祭礼	民具	歴史	戦争	考古	近代建築
件数	11	8	7	7	2	1

資料収集

資料収集委員会

1. 会議

開催日 平成 31 年 2 月 4 日 (月)

場 所 歴史資料館会議室

議 案 審議事項

①平成 30 年度購入予定資料の説明

②平成 31 年度購入予定資料の説明

2. 委員会名簿

氏名	役職	専門
段上 達雄	別府大学教授	民俗学
下村 智	別府大学教授	考古学
安田 晃子	(元) 大分県立歴史博物館課長	文献史学
大津 祐司	大分県立先哲史料館長	文献史学
田中 修二	大分大学教授	美学美術史

寄贈資料

- (1) 喪服・着物・羽織 3 点
首藤岸子 氏
- (2) 戦争資料 ほか 37 点
吉田志津子 氏
- (3) 四乳草鞋 1 点
矢野利幸 氏
- (4) 細の瓦師の職人道具 30 点
松崎寛行 氏
- (5) 芳河原の石棺材 5 点
宮崎昭史 氏
- (6) 日本銀行兌換券拾円券 1 点
諸岡芝恵 氏
- (7) 戦時中の新聞 5 点
葉田幸子 氏
- (8) 戦争資料 18 点
大分市会計課
- (9) 昭和 40 年代の教育資料 28 点
宮瀬雅士 氏
- (10) 軍隊手帳 1 点
工藤光子 氏
- (11) 磨製石器 ほか 8 点
島津秀直 氏



羽織



細の瓦師の職人道具



日本銀行兌換券拾円券



軍隊手帳



磨製石器 ほか

資料購入

- (1) 源氏物語絵 卷 10「賢木」
卷 23「初音」 2点

①長さ 34.4×幅 49.5cm

②長さ 38.6×幅 50.1cm

額装の2枚の源氏物語絵で、狩野光信様式の作品と考えられるものである。

絵は紙本金地着色で、画面全体に金雲を棚引かせ、人物や樹石などが描かれる。

金雲は胡粉で大小さまざまな楕円形状の雲形を表現し、その内縁に三重の列点文を巡らせている。当館が所蔵する狩野光信様式の「伝宇佐神宮旧蔵 源氏物語図屏風(以下、「伝宇佐本」と称す)」の額装の源氏物語絵23枚と、同じ特徴を持つ。

また、当館所蔵の源氏物語絵は本来、六曲一双の屏風の一部で、『源氏物語』五十四帖から各一場面を描いた「五十四帖図屏風」を構成していたものである。それぞれに各帖名を表す付箋が貼付されており、今回対象となる2枚の源氏物語絵にも帖名を記した「さか木(賢木)」・「はつね(初音)」の付箋が認められる。

「賢木」には、源氏との仲を諦めて、伊勢に向かうことを決意した六条御息所を源氏が訪ねる物語の名場面が描かれている。

榊(さかき)の枝を御簾越しに差し入れて歌を詠み交わす二人の姿は、「伝宇佐本」の写真と同じ構図である。

もう一枚の「初音」も、正月に源氏が明石の姫君を訪れる物語の名場面が描かれたものである。姫君に会えぬ実母の明石君を憐れみ、思いを認める源氏や、庭先で小松を引き抜いて長寿を願う童女たちの姿は、「伝宇佐本」の写真と同じ構図である。

「伝宇佐本」の54枚の源氏絵の内、当館が所蔵する23枚以外については、大分県内の個人が所有する5枚が知られているところである。

「賢木」と「初音」はその2枚に相当するもので、「伝宇佐本」を構成する源氏物語絵と判断される。



源氏物語絵 卷10「賢木」



源氏物語絵 卷23「初音」

教育普及活動

ふるさとの歴史再発見

高校生以上を対象に、歴史、考古、民俗・文化史、古文書の4コースの講座を下記の日程で開講。
定員：70名／受講料：各コース300円／時間：14時～15時30分

(1)考古のコース 期間 4月～6月 各指定の土曜日 受講申込者数(70人)受講者総数(272人)

実施日	内容	講師	受講者
4月28日	「楽焼と軟質施釉陶器」	河野史郎(当館職員)	59人
5月12日	Road to 特別展「日本100名城 大分府内城」 「府内城の三つの扉」	塩地潤一(当館職員)	53人
5月26日	Road to 特別展「日本100名城 大分府内城」 「発掘された府内城」	小野綾夏 (大分市教育委員会)	50人
6月9日	「大分市の磨崖仏について」	永松正大(当館職員)	53人
6月23日	「国指定史跡 小熊山古墳 御塔山古墳」	吉田和彦(杵築市教育委員会スポーツ振興課文化財係)	57人

(2)歴史のコース 期間 7月～9月 各指定の土曜日 受講申込者数(66人)受講者総数(244人)

実施日	内容	講師	受講者
7月7日	「大分市の歴史と文化財」	植木和美(当館職員)	54
7月21日	「近代大分の先哲」	櫻井成昭(大分県立先哲史料館)	52
8月4日	「大分の鉄道史」	宮瀬雅士(当館職員)	50
9月8日	「府内城寛保の大火について」	串間聖剛(大分市教育委員会)	50
9月22日	「マリア十五玄義図とキリスト教美術」	福岡加容(当館職員)	38

(3)民俗・文化史のコース期間 10月～12月各指定の土曜日 受講申込者数(66人)受講者総数(160人)

実施日	内容	講師	受講者
10月27日	「鬼と日本人」	樋口和紀(当館職員)	47
11月3日	「蛸の信仰」	吉竹千穂(当館職員)	35
11月24日	「大分の軍人墓」	新名悠由(大分市教育委員会)	38
12月8日	「国東と仏教」	飯沼賢司(別府大学教授)	40

(4)古文書のコース 期間1月～3月 各指定の土曜日 受講申込者数(69人)受講者総数(274人)

実施日	内容	講師	受講者
1月26日	「府内藩記録」を読む 記録にみる府内城下(1)	武富雅宣(当館館長)	61
2月9日	「府内藩記録」を読む 記録にみる府内城下(2)	植木和美(当館職員)	53
2月23日	「府内藩記録」を読む 記録にみる府内城下(3)	武富雅宣(当館館長)	56
3月9日	「府内藩記録」を読む 記録にみる府内城下(4)	植木和美(当館職員)	52
3月23日	「府内藩記録」を読む 記録にみる府内城下(5)	武富雅宣(当館館長)	52

学校・団体の利用

大分市内の小中学校を中心に子ども会やPTA、家庭教育学級、児童育成クラブなどさまざまな団体による体験活動の利用があった。

☆移動講座(出張歴史教室)歴史体験をより多くの学校、団体に活用してもらうために、依頼のあった学校や公民館に出かけて体験学習を実施した。

<学校・団体体験活動利用数>

※学校・団体利用には、公園利用を含み、講座受講生を含まない

	利用団体数				利用者数				合計
	学校	団体	移動	合計	資料館		移動講座		
					児童・生徒	大人	児童・生徒	大人	
4月	1	4	1	6	987	181	156	6	1,330
5月	6	4	1	11	807	397	648	360	2,212
6月	4	4	9	17	210	188	523	85	1,006
7月	5	6	12	23	241	206	643	415	1,505
8月	0	14	9	23	338	203	320	216	1,077
9月	9	5	2	16	386	121	134	13	654
10月	22	7	1	30	2,476	256	0	117	2,849
11月	16	8	4	28	1,637	689	191	186	2,703
12月	0	9	3	12	48	277	0	68	393
1月	12	7	3	22	785	241	468	21	1,515
2月	13	8	3	24	724	319	2	79	1,124
3月	3	12	2	17	1,136	367	0	44	1,547
計	91	88	50	229	9,775	3,445	3,085	1,610	17,915

ふれあい歴史体験講座

親子や一般市民を対象に、下記の歴史体験講座を実施。

時間：午前9時30分～/午後2時～

回	実施日(土曜日)		内容	参加者		
				子ども	大人	計
1	4/21	午前・午後	勾玉作り	65	53	118
2	6/2	午前・午後	土偶作り	15	16	31
3	6/2	午前・午後	土笛作り	28	23	51
4	6/16	午前・午後	粘土はまこわ作り	32	29	61
5	6/30	午前・午後	七夕飾り作り	26	27	53
6	7/14	午前・午後	土の鈴作り	26	20	46
7	8/11	午前・午後	粘土はまこわ作り	54	50	104
8	8/18	午前・午後	土面作り	14	14	28
9	8/25	午前・午後	織物作り	13	20	33
10	9/15	午前・午後	紙かご作り	7	22	29
11	10/13	午前・午後	藤芯かご作り	10	36	46
12	11/10	午前・午後	粘土はまこわ作り	12	16	28
13	12/1	午前・午後	管玉・丸玉作り	24	17	41
14	12/15	午前・午後	和凧作り	7	8	15
15	1/19	午前・午後	ぞうり作り	2	40	42
16	2/2	午前・午後	折り紙雛作り	11	75	86
17	2/16	午前・午後	土偶作り	24	27	51
18	3/2	午前・午後	火起し	13	12	25
19	3/16	午前・午後	勾玉作り	69	63	132
合計				452	568	1,020

体験講座	材料費
土偶作り	180円
粘土はまこわ作り	250円
勾玉作り	250円
土笛作り	70円
七夕飾り作り	100円
土の鈴作り	70円
土面作り	150円
管玉・丸玉作り	280円
紙かご作り	150円
藤芯かご作り	460円
和凧作り	230円
折り紙雛作り	300円
火起し	無料
織物作り	200円



新講座・ぞうり作り

昔のおもちゃで遊ぼう！

子どもの日に昔ながらの手作りおもちゃで遊んでもらう体験講座を実施した。人気の大正2年に作られた消防ポンプ「竜吐水」による放水体験も行った。

実施日：5月5日（土） 9時～16時

料金：無料

内容：昔のおもちゃ（割箸紙飛行機・竹トンボ・竹馬・竹カップカッポ・こま・竹弓矢・羽子板・シャボン玉・わなげ・ゴム鉄砲・糸電話・切り絵・糸電話・おはじき）竜吐水

参加者：271名



竜吐水体験

勾玉作り教室

夏休みと秋に、事前申込不要で勾玉作りを楽しんでもらう講座を2回実施。

受付時間：9時～11時 13時～15時

材料費：1セット250円

回	実施日		参加者		
			子ども	大人	計
1	7月28日（土）	午前・午後	127	99	226
2	11月17日（土）	午前・午後	86	63	149
合計			213	162	375



勾玉作り（色付け作業）

夏休みジュニア歴史体験

小4～中学生を対象に、資料館のバックヤード見学や史跡公園を巡る歴史体験、鏡作り体験を実施した。

実施日：8月2日（木）9時30分～15時30分

参加者数：15名

参加料：500円



夏休みジュニア歴史探検

職場体験学習の受け入れ

小学生～高校生を対象に、資料館職員の仕事を体験。

	学校数	受入日数	のべ人数
小学校	1校	1日	8人
中学校	4校	10日	54人
合計	5校	11日	62人



職場体験

歴史教育研修

小・中学校教職員を対象に歴史教育に関する研修を開催。

実施日	内容	参加者
6/14(木)	放課後講座 歴史教育セミナー	2
7/31(火)	郷土の歴史と文化財研修1 歴史資料館の体験活動	9
8/10(金)	初任者研修 郷土の歴史と文化	74
12/26(金)	郷土の歴史と文化財研修2 現地学習（中世府内のまち見学）	7
合計		92



歴史教育研修

展示解説講座

テーマ展示及び特別展の展示品や内容をスライド等を使い解説する講座を実施。

時間：14時～ 料金：無料

実施日	内容	参加者
5/14(日)	テーマ展示Ⅰ 「王朝文化へのいざない 源氏物語絵」	54
8/6(日)	テーマ展示Ⅱ 「いきものばかり～資料こみる小さな生き物～」	28
11/5(日)	特別展 「日本100名城大分内城」	22
2/11(日)	テーマ展示Ⅲ 「収蔵コレクション(2018年度)～花鳥風月展～」	21
合計		125

刊行物

名称	規格	頁数	部数
資料館ニュース 118号	A4	4	7,000
資料館ニュース 119号	A4	4	7,000
資料館ニュース 120号	A4	4	7,500
第37回特別展図録	A4	56	1,000

※年報はホームページに掲載予定



資料館ニュース 118号



資料館ニュース 119号



資料館ニュース 120号



ビデオライブラリー

館蔵ビデオの上映サービスを実施。

時間：随時 料金：無料

月	視聴者数		
	子ども	大人	合計
4月	0	59	59
5月	147	281	428
6月	0	110	110
7月	127	205	332
8月	55	87	142
9月	0	88	88
10月	0	69	69
11月	86	251	337
12月	0	40	40
1月	0	61	61
2月	41	130	171
3月	126	189	312
合計	582	1,567	2,149

資料の利用・貸出

(1) 資料の利用提供

件名	件数
熟覧・写真撮影	26 件
テレビ撮影・雑誌等の取材	23 件
印刷物掲載・写真貸与	42 件

(2) 資料の貸出

団体名	展示会名	点数
下関市立歴史博物館	特別展「大内氏の興亡と毛利氏の隆盛―海峽の戦国史第1章」	2 点
武雄市図書館・歴史資料館	企画展「西洋の絵画と西洋の青」	1 点
大分県埋蔵文化財センター	企画展「古鏡の輝き〜いにしへの大分の映す〜」	1 点

広報事業

平成 30 年度は、以下の施設等に総合案内・歴史資料館ニュースの配布・掲示等の PR 活動を実施。

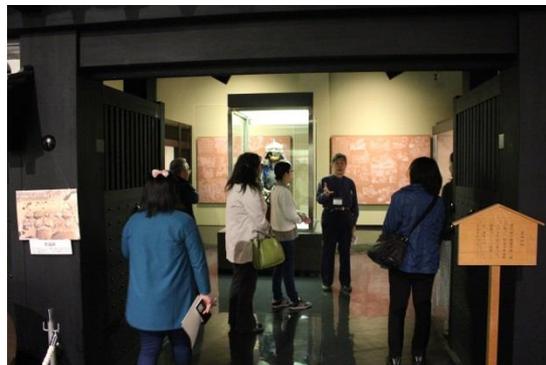
学 校	小・中学校（市内）	84 校
	小学校（市外）	67 校
	高等学校・大学等	43 校
行 政	市役所関係	85 ヲ所
	県庁関係	3 ヲ所
	県内自治体	18 ヲ所
博 物 館	県外博物館	197 ヲ所
	県内博物館	24 ヲ所
	県外埋文センター・大学付属博物館等	91 ヲ所
そ の 他	市政記者クラブ（随時）	21 社
	県内マスコミ	17 社
	交通機関・一般施設等	53 ヲ所

市民学芸員の活動

市民や地域により身近な資料館をめざし、平成 24 年度より始まった「市民学芸員」。平成 30 年度は、21 人が登録し、「資料グループ」、解説グループ、「体験グループ」の 3 つに分かれ、のべ 124 回にわたって活動した。



市民学芸員の活動風景（体験グループ）



（解説グループ）

歴史資料館利用状況

年 ／ 月	開 館 日 数	観覧者数										講座室利用者数										来館者 総計
		一般				団体				合 計	一般	資料館講座				映画会		合 計				
		大人	中学生	小学生	小学生	高校生	中学生	小学生	小学生			歴史講座 解説講座	資料館 主催 体験講座	学校等 体験教室	大人	小中学生						
																	高校生		中学生	小学生		
30/4	26	533	8	5	126	240	0	301	686	1,899	147	0	59	118	1,212	59	0	1,595	3,494			
5	26	498	9	6	60	532	0	659	1,764	155	0	157	271	1,941	281	147	2,952	4,716				
6	26	391	1	2	48	298	2	208	950	152	0	110	196	810	110	0	1,378	2,328				
7	25	458	9	3	57	276	0	217	1,044	174	0	106	272	1,233	205	127	2,117	3,161				
8	27	497	7	17	117	253	0	335	1,229	186	0	78	180	897	87	55	1,483	2,712				
9	25	411	6	1	39	196	0	30	1,035	107	0	88	29	625	88	0	937	1,972				
10	23	694	5	9	63	308	0	2,476	3,555	93	0	69	46	2,803	69	0	3,080	6,635				
11	24	747	0	3	71	360	0	123	2,818	128	0	188	177	2,526	251	86	3,356	6,174				
12	23	352	1	2	20	166	0	48	589	175	0	40	56	337	40	0	648	1,237				
31/1	23	443	1	1	59	155	0	785	1,444	225	0	61	42	1,473	61	0	1,862	3,306				
2	24	449	3	1	66	298	0	1	1,543	186	0	130	137	987	130	41	1,611	3,154				
3	26	800	7	4	96	271	2	0	2,304	190	0	104	157	1,390	186	126	2,153	4,457				
合計	298	6,273	57	54	822	3,353	4	482	20,174	1,918	0	1,190	1,681	16,234	1,567	582	23,172	43,346				

※団体観覧者数には、講座受講者を含み、公園利用のみの団体は含まない。

管 理 及 び 運 営

1. 歴史資料館協議会

第1回 開催日 平成30年8月17日(金)

会場 大分市歴史資料館 会議室

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 委員・職員紹介
- (3) 議事
 - ①平成29年度事業報告
 - ②平成30年度事業報告及び経過報告
 - ③その他

第2回 開催日 平成31年2月28日(木)

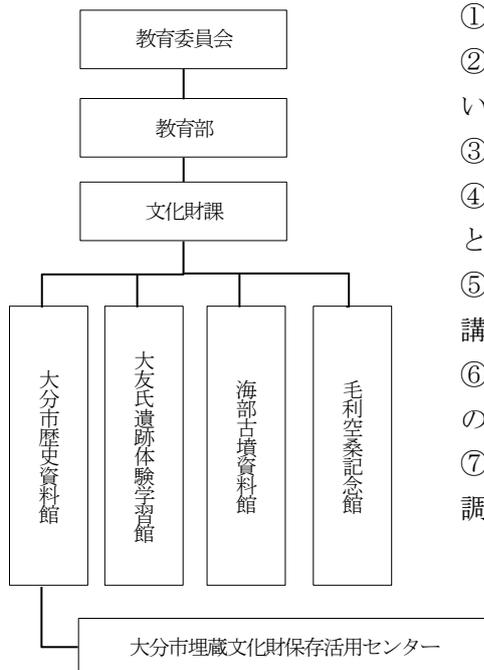
会場 大分市歴史資料館 会議室

- (1) 議事
 - ①平成30年度事業経過報告
 - ②平成31年度事業計画
 - ③その他

氏名	役職	備考
平井 義人	日出町歴史資料館・帆足万里記念館 館長	学識経験者
篠崎 悠美子	別府大学 教授	学識経験者
田中 裕介	別府大学 教授	学識経験者
小柳 和宏	大分県立歴史博物館館長	行政関係者
川口 洋	大分市小学校校長会代表	学校教育関係者
鎌手 勝公	大分市中学校校長会代表	学校教育関係者
福島 麻紀	大分市PTA連合会代表	社会教育関係者

2. 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出

(1) 組織機構



(2) 分掌事務

- ①資料館の施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。
- ②歴史資料、考古資料、民俗資料等（以下「歴史資料等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- ③常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
- ④歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- ⑤歴史、考古、民俗等（以下「歴史等」という。）についての講演会、講習会、研究会、映写会等の開催に関すること。
- ⑥学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
- ⑦歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

(3) 職員

(平成31年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
館長	武富雅宣	管理普及担当 班長 参事補	志賀良史
学芸調査担当 班長 参事	植木和美	参事補	河野史郎
参事補	塩地潤一	主査	甲斐陽子
主査	吉野晃次	主査	永松正大
主査(再)	塔鼻光司	主査(再)	久多羅岐明
主事	井福裕樹	主事	河野美德
嘱託職員	樋口和紀	嘱託職員	石丸喜久子
嘱託職員	吉竹千穂	嘱託職員	佐藤絵里子
嘱託職員	宮瀬雅士	嘱託職員	福間加容
嘱託職員	米倉加奈絵	嘱託職員	手嶋俊豪
嘱託職員	荒木伴世	臨時職員	甲斐しのぶ
		臨時職員	大濱賀世子

(4) 歳入歳出

(H30実績) 単位: 千円

歳入		歳出	
科目	金額	科目	金額
観覧料・ 講座室利用料	574	管理運営費	50,237
歴史講座受講料	75	企画展費	6,691
図録売払代金	289	資料購入費	1,072
雑収入	1		
雇用保険徴収金	4		
計	943	計	58,000

3. 施設管理業務の内容

(1) 施設管理業務の一部委託

- ①警備・・・・・・・・・・朝日警備保障(株)
- ②清掃(館内及び受水槽・高架水槽)
・・・・・・・・・・(有)日本ビルサービス
(館外)・・・・・・・・・・(有)協和環境
- ③電気工作物保安管理・・・・・・・・日本電気保安(株)

- ④空調設備(冷暖房)保守点検整備
・・・・・・・・・・日本暖房鉄工(株)
- ⑤消防設備点検・・・・・・・・新日本消防設備(株)
- ⑥エレベーター保守点検
・・・・・・・・・・フジテック(株)西日本支社九州支店
- ⑦自動ドア保守点検・・・・・・・・大分ナブコ(株)
- ⑧浄化槽維持管理・・・・・・・・福喜工業(有)
- ⑨地下タンク等漏洩検査・・・・・・・・(有)二豊サービス
- ⑩ボイラー保守点検・・・・・・・・日本暖房鉄工(株)
- ⑪収蔵庫内ガス燻蒸・・・・・・・・(有)アトム商事
- ⑫燻蒸設備保守点検・・・・・・・・環境技術
- ⑬歴史資料館緑地帯及び豊後国分寺史跡公園管理
・・・・・・・・・・(株)九環緑地建設
- ⑭衛生害虫防除作業・・・・・・・・(株)大分イカリテクノス
- ⑮ハロン消防設備更新・・・・・・・・新日本消防設備(株)
- ⑯空調設備(冷暖房)保守点検整備
・・・・・・・・・・日本暖房鉄工(株)
- ⑰外灯ランプ設置・・・・・・・・日本電気保安(株)
- ⑱地下タンク漏洩検査・・・・・・・・(有)二豊サービス
- ⑲貯水槽清掃・・・・・・・・(有)日本ビルサービス
- ⑳2階トイレ改修工事設計業務
・・・・・・・・・・工藤雅史建築研究所
- ㉑2階トイレ改修給排水設備工事設計業務
・・・・・・・・・・(有)第一設備設計事務
- ㉒冷温水配管修繕・・・・・・・・日本暖房鉄工(株)
- ㉓ブラインド修繕・・・・・・・・(株)三愛
- ㉔受水槽定水位弁取替・・・・・・・・フジシステム設備(有)
- ㉕フロアコンセント修繕・・・・・・・・(株)安部電業社
- ㉖真空殺虫装置不良部品交換・・・・・・・・環境技術
- ㉗1階トイレ改修工事・・・・・・・・(有)ナギシステム

施設の概要



<階別室別床面積>
1階平面図

階別	部門	室名	面積(m ²)
1階	教育普及	第1講座室	63.72
		第2講座室	47.83
		映写室	8.23
		小計	119.78
	サービス	エントランスホール	215.05
		その他	131.25
	小計	346.30	
	事務管理	館長室	30.37
		事務室	46.54
		会議室	38.20
		倉庫	33.69
		更衣室	3.72
		その他	14.73
	小計	167.25	
	学芸調査	学芸調査	80.93
学芸室		25.22	
写場		48.37	
小計		154.52	
収蔵	機密室	6.75	
	整理作業室	49.00	
	プラットフォーム	31.50	
	高解像度室	52.02	
	収蔵室	135.67	
小計	274.94		
機械室	機械室	197.54	
	ERV他	10.06	
	小計	207.60	
1階計		1270.39	

2階平面図

階別	部門	室名	面積(m ²)
2階	展示	第1展示室	362.25
		第2展示室	243.00
		テーマ展示室	85.50
	小計	690.75	
	収蔵	収蔵庫	41.62
		特別収蔵庫	41.62
	小計	83.24	
	サービス	学習室	33.63
		ホール	87.51
		ロビー他	260.30
小計	381.44		
管理	A-C機械室	59.61	
	小計	59.61	
2階計		1215.04	
塔屋	昇降機械室	9.33	
	ポンプ置場	24.75	
	階段その他	8.61	
	塔屋計	42.69	
屋外	便所	24.30	
	ポンプ室	12.50	
屋外計		36.80	
総計		2614.92	

利用案内

開館時間 9時～17時

(入館は16時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)

ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館(祝日は開館)

祝日の翌日

(土・日曜日の場合は開館)

年末年始(12月28日～1月4日)

観覧料 大人200円(団体150円)

高校生100円(団体50円)

中学生以下は無料

*団体は20名以上

*特別展開催中は、別料金となる場合があります。

交通機関 JR久大本線

◎豊後国分駅下車:徒歩2分

大分自動車道

◎大分I.C・光吉I.C.よりともに

約15分



大分市歴史資料館アクセスマップ

H30年度総合案内チラシ(表)



講座名	日時	内容	料金	募集
ふるさとの歴史再発見講座	14時～15時30分	大分に関するテーマを中心に外部講師、当館職員が連続講座を行います。	各コース市報掲載日・掲載コースの5日に限っては各1回300円	各コース市報掲載日・掲載コースの5日に限っては各1回300円にて受付(多数の場合抽選)
ふれあい歴史体験	① 9時30分～② 14時～	勾玉作り、土器作り、はにわ作りなど各回ごとに内容を変えています。(各約2時間)	材料費	各回ごとに募集応募(電話・先着順)※大・小の心の配慮も可
昔のおもちゃで遊ぼう	5月5日(土) [こどもの日] 9時30分～15時 (15時受付終了)	歴史資料館の中で唯一の史跡公園で、竹馬、竹んぼなど手作りのおもちゃで遊べます。	無料	参加は自由。事前予約の必要はありません。
勾玉作り教室	7月28日(土) 11時15分(土) 9時～11時 13時～15時	歴史資料館の中でも一番人気の勾玉作りが、期間内であれば、いつでも受け付けます。①お申込み希望と玉を準備してきてくださると勾玉作りがスムーズに受け付けます。(製作時間:1時間程度)	材料費	参加は自由。事前予約の必要はありません。持ち物:お持ち込み可
夏休みミニシアター歴史探検	8月2日(木) 9時30分～15時30分	施設や資料の探検、観音などの歴史探検を行います。	材料費	対象:小学生～中学生 応募:任意(希望者多数の場合抽選)
展示解説講座	5月13日(日) 8月5日(日) 10月21日(日) 2月10日(日)	テーマ:「王朝文化へのいざない 源氏物語」 「いきものばかり 源氏物語」 「日本100名城 大分府内城」 「収蔵コレクション(2018年度)」	無料	参加は自由。事前予約の必要はありません。

*各講座を受講された方は、観覧料が無料になります。※都合により予定を変更することがあります。*各講座の詳細は、市報・大分市のホームページでお知らせします。

H30年度総合案内チラシ(裏)



大分市歴史資料館年報

2019

発行日 令和元年 7月25日

編集・発行 大分市歴史資料館

〒870-0864 大分市大字国分 960番地の1

TEL(097)549-0880 FAX(097)549-5766
